

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年 2月 20日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス スマイルタ陽丘店

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習室とプレイルームを活用しながら、机やイスなどレイアウトを状況に合わせて変化させている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		配置基準の人員を満たして適切な配置を行っている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		児童ロッカーに名前を記入している。学習室とプレイルームなど用途に合わせて使用する部屋をわかりやすく環境調整を行っている。トイレや手洗い場に幼児用踏み台を用意し事故が起きないように介助をしたり、見守っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		始業前や業務後に室内や玄関の清掃を行っている。活動に合わせて配置を変えている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の朝礼や終礼で諸連絡や1日のプログラム・1人1人の課題について話し合い、議事録にまとめている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		モニタリングやアンケートを基に保護者様からのご意向を把握して改善策を職員全員で検討を重ねている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自社HPにて公表している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		全社での会議や大阪医療福祉専門学校と連携しながら改善に努めている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修を行ったり、外部研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを適切に行い、見学やモニタリングで児童の現状や事業所での活動の様子を共有しながら個別支援計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		ガイドラインに基づいた5領域に合わせたアセスメントツールを用意し、使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントによりニーズを確認の上、日常生活における基本的な動作の指導、知的技能の付与、集団生活への適応訓練など、その他必要な支援を行っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画を共有した上で、適切な支援はできるよう定期的に職員ミーティングを行いながら支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児童や時期に応じたプログラムを職員全員で検討しながら連携し支援を行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		工作やSST、公園遊び、実験、課題の進行状況や定着状況などに合わせ、様々なプログラムを実施している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別活動や集団活動を各々のニーズに合わせて作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		就業開始時に朝礼を行い、支援内容についての確認や当日の役割分担や環境調整の共有を行っている。	
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		就業終了前に終礼を行い、1日の振り返りや確認事項の整理、共有を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別の支援記録をとり、出来た点出来なかった点を明確に記載することを心掛け、よりよい支援ができるよう職員間で内容を共有している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、現状に合わせた計画の見直しに取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者、児童発達支援管理責任者等、その児童に合わせた職員が参加するようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		ボランティアや地域で行われている研修などに参加して、子育て支援センターの職員の方々と意見交換している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて連携できるようにコミュニケーションを取っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		積極的に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や電話やLINEといった連絡ツールを使用し、その日の様子や課題についてお伝えし、共有し合っている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に運営規定・支援内容・利用者負担などについて説明を確実にしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに基づいた支援計画を策定し、説明の上、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様方の必要に応じて話を聞き、支援できるように努めている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情解決窓口を作り、迅速に対応し改善できる体制を整えている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に一度活動予定を配布したり、ブログやタイムライン等も活用して行事について詳しく紹介している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載されている書類に関しては、鍵のかかる棚に保管するよう徹底している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードなどを用いることにより配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
41		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		事業所内に保管し、いつでも誰でも閲覧できるようにしている。 様々な事態を想定した避難訓練を実施している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		イベントの一環で防災訓練をしたり、事業所での様々な災害を想定した避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメント実施時に持病や発作の有無の確認をし、緊急時の対応方法について確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットや事故を防ぐため、共有事項を強化し、対策に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止、人権に関して研修を行うとともに、職員間で支援が適切かどうか相互確認を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。